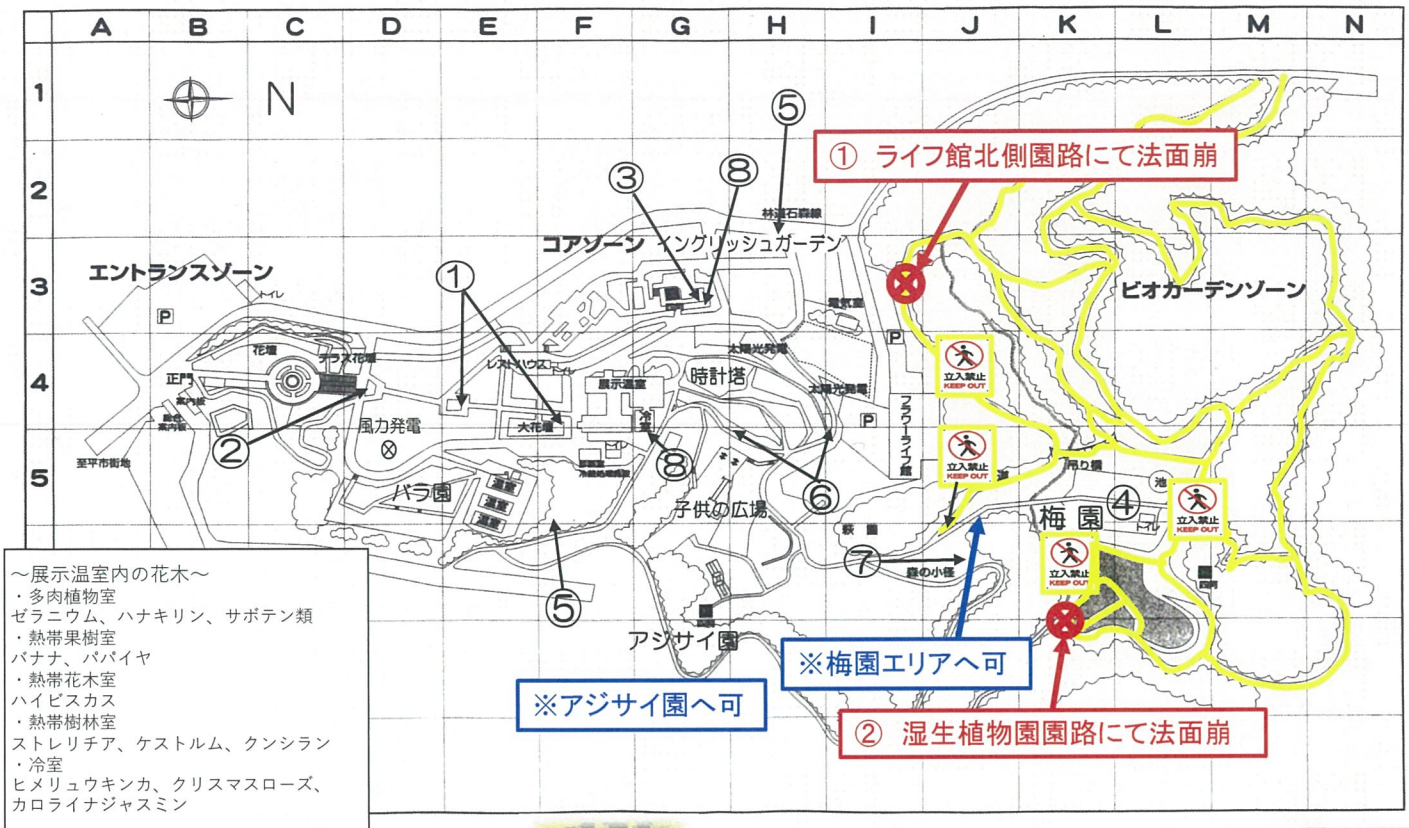


フラワーセンター【3月の花】

2019年度

※園内の植物の盗難が相次いでいます。
園内の植物は絶対にとらないでください。



①パンジー（大花壇）



スミレ科 一年草 原産：ヨーロッパ
パンジーは数千ともいわれるたくさんの品種があり、花の大きさ・色・咲き方をはじめとして途方もないバラエティーがあります。パンジーの名前はフランス語のパンセ（物思い）に由来し、花の咲いている姿が物思いにふけているように見えることから名付けられました。

②ノースポール （風力発電の西側 大階段前）



キク科 一年草 原産：北アフリカ
非常に丈夫で、冬から春には欠かせない植物。こぼれダネでよく増えます。冬の間は花は少なく、キクのように切れ込んだ緑の葉をボール状に茂らせ、春になると、株いっぱい白い花を咲かせます。

③サンシュユ （イングリッシュガーデン北側入口付近の園路沿い）



※3月初旬頃の開花、下旬頃に見頃の予想です。
ミズキ科 落葉高木 原産：中国・朝鮮半島
サンシュユは葉が開くより先に開花するため、株全体が鮮やかな黄色に包まれます。花は黄色い小花が30個ほど集まり、直径2～3cmほどの小さな花房（散形花序）をつかって開花します。秋には紅葉とともにサンゴのようにつややかな赤い実が楽しめます。

④紅梅・白梅 （フラワーライフ館北側梅園）



バラ科 落葉低木 原産：日本
濃い桃色の花が咲く、梅の一品種。
春を告げる花として日本に古くから親しまれているウメには、果実を食用にする実梅と、花が大きく美しく観賞に向く花梅があります。

⑤ミツマタ （みかん園の上側・イングリッシュガーデン内）



ジンチョウゲ科 落葉低木 原産：中国
枝が三つ又に分かれるところから「ミツマタ」といいますが、見た目そのまま非常に説得力があり覚えやすい名前だと思います。和紙の原料としてよく知られているのですが、樹形のまとまりがよくて花もきれいなので、庭木や鉢花、盆栽などで栽培されます。

⑥レンギョウ （フラワーライフ館から展示温室に向かう園路脇）



※3月中旬頃の開花予想です。
モクセイ科 落葉低木 原産：中国、朝鮮半島、日本
レンギョウの花は3月中旬～4月で、花期になると、新葉が展開する前に、前年に伸びた枝の葉の付け根に、花径2～3cm程度の花を無数に咲かせます。花は花冠が深く4裂した筒状花で、中心には雌しべと2本の雄しべがあります。

⑦修善寺寒桜 （伊豆修善寺の修善寺境内に原木がある桜で、カンヒザクラとオオシマザクラの交雑種と言われます。）



バラ科 落葉小高木
伊豆修善寺の修善寺境内に原木がある桜で、カンヒザクラとオオシマザクラの交雑種と言われます。花が大きく花色の桃色も濃いので目立ちます。
※3月初旬頃の開花、3月中旬頃に見頃の予想です。

⑧クリスマスローズ （イングリッシュガーデン北側入口付近・冷室）



キンポウゲ科 常緑多年草 原産：ヨーロッパ
花の少ない1～3月頃に可憐な花を付けるクリスマスローズは、丈夫で育てやすく、開花期間の長い宿根草です。花のように見える部分は罎（がく）という器官で、本当の花は真ん中に小さく集まっています。